

資 料

神奈川県内48大学58キャンパスにおける喫煙対策実態調査

鹿毛 勇太¹⁾, 安藤 謙吾¹⁾, 小川 達也¹⁾, 金子 拓人¹⁾,
北嶋 宏輝¹⁾, 安田 優¹⁾, 山縣 英尋¹⁾, 水嶋 春朔²⁾

¹⁾ 横浜市立大学医学部 医学科 4年,

²⁾ 横浜市立大学医学部 社会予防医学

要 旨:平成22年4月1日, 神奈川県は全国に先駆けて神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例を施行した. この条例では, 大学が第一種施設に分類され原則禁煙となっている. 神奈川県内の大学48校58キャンパスを対象としてアンケート調査を実施し, 条例の認知度, 禁煙対策状況の把握を行った. 100%の回収率を得た. 神奈川県受動喫煙防止条例について知っていると回答した大学は98%, 禁煙状況に関しては, 施設内禁煙15.5% (9キャンパス), 敷地内禁煙0%, 施設内全面禁煙72.4% (44キャンパス), 敷地内全面禁煙8.6% (5キャンパス)であった. 敷地内全面禁煙を実施している大学は5キャンパスで, そのうち3キャンパスは医療系の大学, 1キャンパスはビルの一部という非常に小規模の大学, 1キャンパスは音楽大学であった. 県内の大学は施設内全面禁煙を目指し, 医療系大学は敷地内全面禁煙となることが望ましい.

Key words: 神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例, 受動喫煙, 大学, 施設内禁煙, 敷地内禁煙